

～将来の日本の福祉を担う若者が認知症の実態について理解を深める！～
医療福祉系進学希望の高校生対象『認知症サポーター養成講座』を開催（7/27）

龍ヶ崎市では、認知症の実態や地域福祉の現状を知ってもらうため、茨城県立竜ヶ崎第一高等学校（羽成邦男校長・生徒数881人（全日制：836人、定時制：45人／7月22日現在）で『認知症サポーター養成講座』を令和元年7月27日（土）に開催します。

当日は、看護医療系や養護教諭などを将来の選択肢に希望している生徒21名と教員4名が参加予定です。

保健医療福祉分野へ進路希望する高校生を対象とした『認知症サポーター養成講座』の開催は市内初であり、茨城県内でも珍しい取り組みです。

今回は通常の講座に加え、今後想定される地域福祉などの状況を説明し、より具体的に専門的に講座を実施します。さらに、講師役である市職員（保健師・社会福祉士）との意見交換やアドバイスなどを通じて、生徒が具体的な将来像を描けるような機会を創出します。

【参考】『認知症サポーター養成講座』の本市での取り組み

今後ますます進んでいく高齢化に伴い、拡大化していくことが予想される「認知症」についての理解をより多くの市民に深めてもらい、「認知症の人にやさしいまちづくり」、「認知症の人が住みやすいまちづくり」を目指すため、市民や各種団体、小中学校や高校の生徒などに対して講座を幅広く実施しています。

■日時 令和元年7月27日（土）午後1時30分から午後3時まで

■場所 茨城県立竜ヶ崎第一高等学校 1階会議室
（所在地：龍ヶ崎市平畑248）

■参加者 茨城県立竜ヶ崎第一高等学校 生徒・教師 約25名（予定）
【生徒内訳】1年生…2名、2年生…9名、3年生…10名

■その他 講座終了後、教師及び生徒へのぶら下がり取材可能です

担当課

龍ヶ崎市 健康づくり推進部 健幸長寿課 地域包括支援センター
担当者：山口・糸賀（やまぐち・いとが）
連絡先：0297-62-8686（直通）